

令和7年 3/9 (日)

18:30 開演 (18:00 開場)

大本山 建仁寺

方丈 (北門より入場)

一般 / 7,000 円

会員 / 6,000 円

(拝観料込み・全席自由)

大本山建仁寺 奉納長唄演奏会

一管

龍の声

鞍馬山

松の翁

賤機帯

唄

杵屋東成 (人間国宝) / 杵屋勝之弥 / 杵屋禄三 ほか

三味線

杵屋勝禄 / 杵屋勝七郎 / 杵屋禄宣 ほか

笛

藤舎名生 (人間国宝)

【特別協力】大本山建仁寺

【主催】一般財団法人杵勝会



令和六年（二〇二四年）
藤倉名生作曲

龍の聲

人間国宝
笛 藤倉名生

「龍」は天空を飛翔する想像上の怪獣です。古代中国では皇帝の権力の象徴と霊力を持つ動物です。又、水の神として仏法の教えの雨「法雨」を降らせ火災から守ると信仰されています。今回は横笛で龍の声と動きを現しております。

安政三年（一八五六年）
二世杵屋勝三郎作曲

鞍馬山

(唄)
杵屋 禄三
杵屋 和三朗
杵屋 和五郎
杵屋 勝之弥
杵屋 勝七郎
杵屋 寿哉
杵屋 寿希
杵屋 寿宣
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉

鞍馬山の夜の情景が始まります。父の仇討のため多聞天に毎晩祈念する牛若丸は、三歳の時に伏見の里で平宗清により母常盤御前と共に命を助けられたこと、鞍馬山の東光坊に預けられて十数年が経ったことを述懐します。その後、剣道修行を始める、天狗が討ちかかってきて立廻りとなり、やがて天狗は姿を消します。

明治十年（一八七七年）
三世杵屋正治郎作曲

松の翁

(唄)
杵屋 勝之弥
杵屋 勝七郎
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉

静岡県沼津市に今もある植松家の庭園「帯笑園」に作曲者が逗留した時にできた曲です。『およそ千年』以下のクドキ風の部分では、この庭園の植物と同じく我が国の文明も花盛りであると述べ、四季の眺めからは踊り地風で、富士山の眺めなど絶景を唄います。『世にも』からのチラシでは、この庭園を讀えた本曲の一節を土産に持ち帰るが良い、と唄います。

文政十一年（一八二八年）
十世杵屋六左衛門作曲

賤機帯

(唄)
人間国宝
杵屋 東成
杵屋 勝之弥
杵屋 禄三
杵屋 寿希
杵屋 寿宣
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉
杵屋 寿哉

桜が散りかかる春の隅田川の畔。我が子を人買にさらわれて狂乱となった母が、渡し船の船頭に子の行方を尋ねます。船頭からかわれた母は桜の花びらを掬って見せ、船頭は気の毒に思いますが、母はさらに羯鼓を打って踊り続けます。能（隅田川）を下敷きにした曲です。



杵屋 禄三



杵屋 禄宣



杵屋 勝七郎



杵屋 勝之弥



杵屋 勝禄



人間国宝 杵屋 東成



杵屋 和五郎



杵屋 和三朗



杵屋 寿希



杵屋 寿哉



人間国宝 藤倉 名生

【開催日時】

2025年3月9日(日)
18時30分開演
(18時開場)

大本山 建仁寺 本坊内方丈

京都市東山区大和大路通四条下る小松町584番地

チケット 一般 7,000円
会員 6,000円
全席自由 (椅子席)

(会員：杵勝会名取・はなびしの会会員の方)
※はなびしの会へのご入会については
杵勝会までお問い合わせ下さい。
入会に関しては下記QRコード
入会フォームにてお申し込み下さい。



チケット
申込みフォーム
こちらのQRコードより
お申し込み下さい



はなびしの会
申込みフォーム
こちらのQRコードより
お申し込み下さい

【チケットのお申込み・お問い合わせ】

一般財団法人 杵勝会

〒106-0032

東京都港区六本木3-17-12-303

TEL 03-3503-1052 FAX 03-3505-1053

ホームページ <https://www.kinekatsu.com>

メールアドレス kineya@js9.so-net.ne.jp



京阪電車「祇園四条駅」より徒歩7分
阪急電車「河原町駅」より徒歩10分
JR京都駅より市バス206系・100系
市バス「東山安井」より徒歩5分
市バス「南座前」より徒歩7分
市バス「祇園清水道」より徒歩10分
※会場の本坊内方丈には、花見小路北門よりお入り下さい。